

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度		平成16年度	
総合計画	大項目 基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目 基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり
	小項目 施策	04	高齢者福祉
事務事業名		08	寺山地区高齢者通院費事業
		根拠法令・例規等	備前市日生町寺山地区高齢者等通院交通費助成事業実施要綱
		問担当課(室)	日生総合支所 窓口管理課
		合職・氏名	課長代理 原田尚美
		先電話	72-1102
		このシート作成に要した時間	2.0 時間

(平成22年度事業)					
事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
寺山地区の人口	目標値(A)	11	11	9	9
	実績値(B)	11	11	9	到達目標値
	達成率(B/A)	100.00%	100.00%	100.00%	9
成果指標設定の考え方・式や説明					
小規模高齢化集落である寺山地区に他地区に無い施策を設定していることから、人口の増減(現状維持)に注目する					

事業の目的		(Plan)
対象(誰・何に対して)	備前市日生町寺山地区に居住する満70歳以上又は身体障害者1・2級、療育手帳A、精神障害者1から3級の手帳の交付を受けている方	
目的(何のために)	公共交通手段のない寺山地区の高齢者等の医療機関への通院を援助する	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	寺山地区の事業対象者が、安心して医療機関への通院ができるようになる	

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い			(Check)	
妥当性の評価	市との関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い			妥当性評価 <A-E> C	
	市民ニーズ					
	効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている			効率性評価 <A-E> C
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			有効性評価 <A-E> C	
市民参画度						

事業の実績		(Do)	
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するため実施した事業	寺山地区高齢者通院事業	寺山地区の高齢者が医療機関において、治療を受ける目的でタクシー等を利用する場合に、交通費の一部を助成する。ただし、1箇月2往復以内、5000円までとする	

進行年度(H23年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	寺山地区は人口が9人であり、コミュニティとしての維持は困難となってきたところから、今後対象者も減少していくものと思われる						

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費	千円	65	75	54
	必要人員人件費				
	事業費計		65	75	54
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	その他()				
		一般財源	65	75	54
		受益者負担比率	-	-	-
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	申請者数	説明	当該事業への申請者の実人数		
	結果指標量	人	2	2	1
	対前年比	%	-	100.0%	50.0%
	活動コスト	円	65,000	75,000	54,000
	単位当たりコスト	円	32,500	37,500	54,000

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い		
この事業の対象地区人口は9人であり、そのほとんどが70歳以上という超高齢化地区であることから、不便な当該地区でのこの事業継続はやむを得ないものとする		評価区分 <A-E> C		

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	この事業の対象地区人口は9人であり、そのほとんどが70歳以上という超高齢化地区であることから、不便な当該地区でのこの事業はやむを得ないものとする						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

(Action)